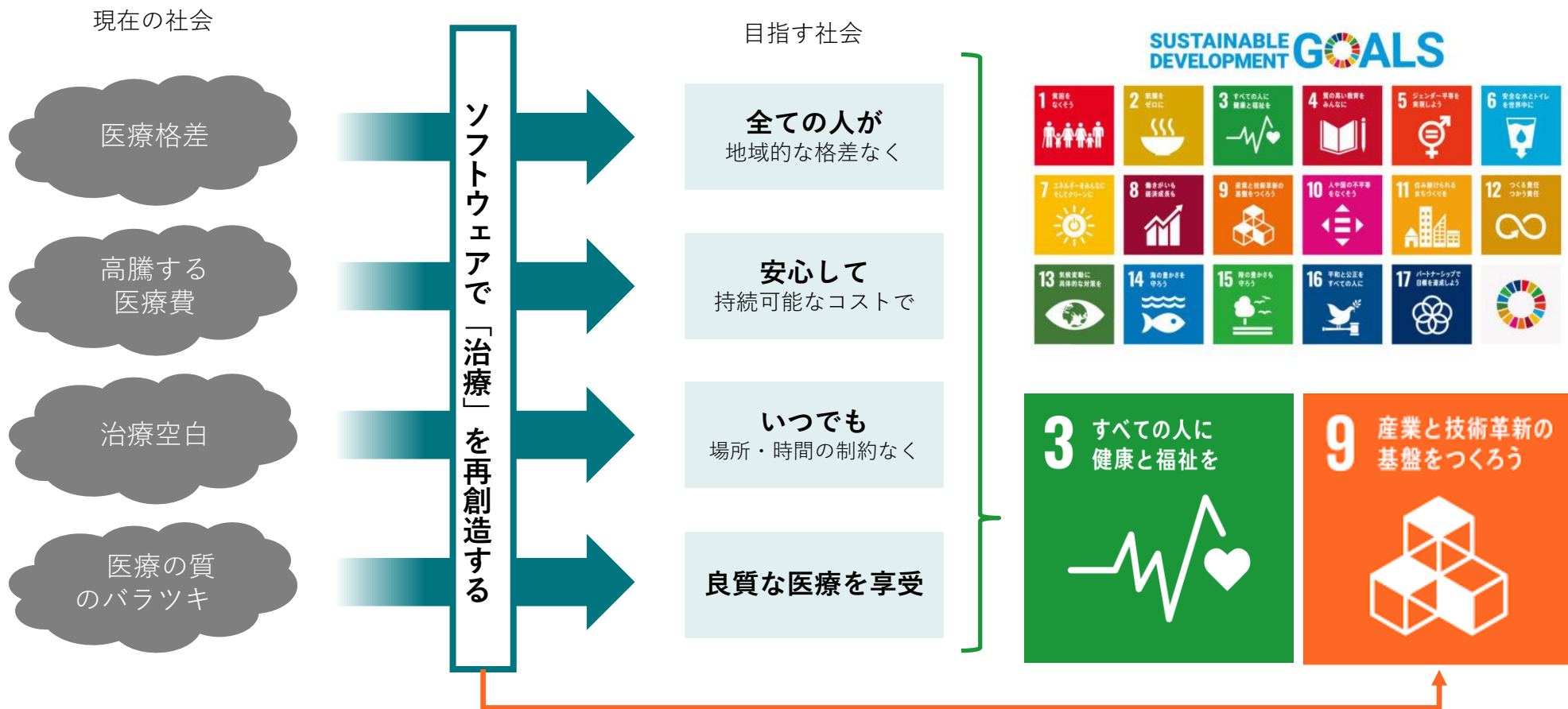


株式会社CureApp 会社説明資料

株式会社CureApp 代表取締役社長兼CEO
日本赤十字社医療センター 呼吸器内科
佐竹晃太

サステナビリティ：CureAppが設立当初から目指しているもの

当社は設立当初から社会への貢献を掲げて経営されています。昨今のSDGsやESGの潮流は当社の設立以来の想い、アクションをより評価する枠組みが世の中に浸透してきたとも捉えられます。



アジェンダ

1. 会社概要
2. 治療アプリとは
3. サステナビリティ経営・IMMに関する取り組み

アジェンダ

1. 会社概要
2. 治療アプリとは
3. サステナビリティ経営・IMMに関する取り組み

事業領域概要

プラットフォーム価値の源泉

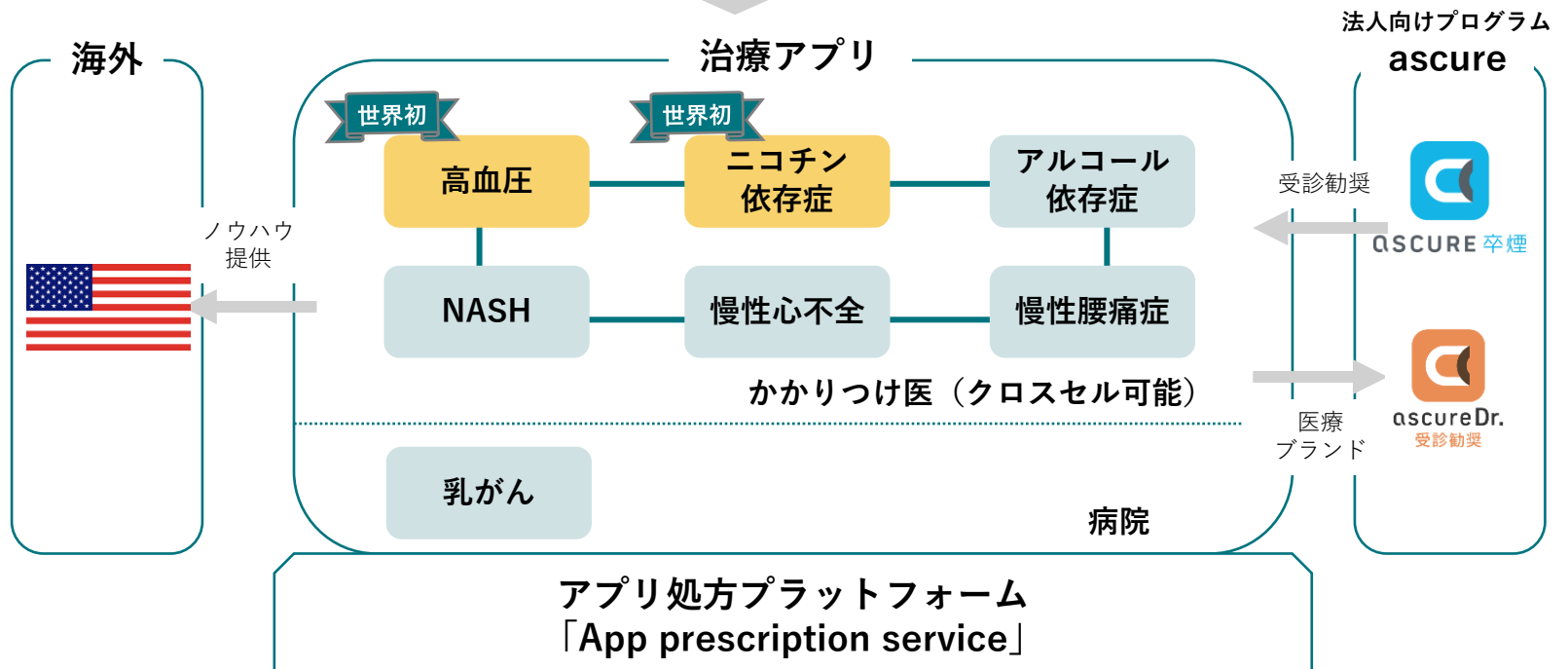


当社の保有するアセット
～スピーディに複数製品を上市することが可能～



DTx事業化に必須の医療機器開発/臨床開発・薬事保険/商業化のノウハウ

CureApp
ラインナップ

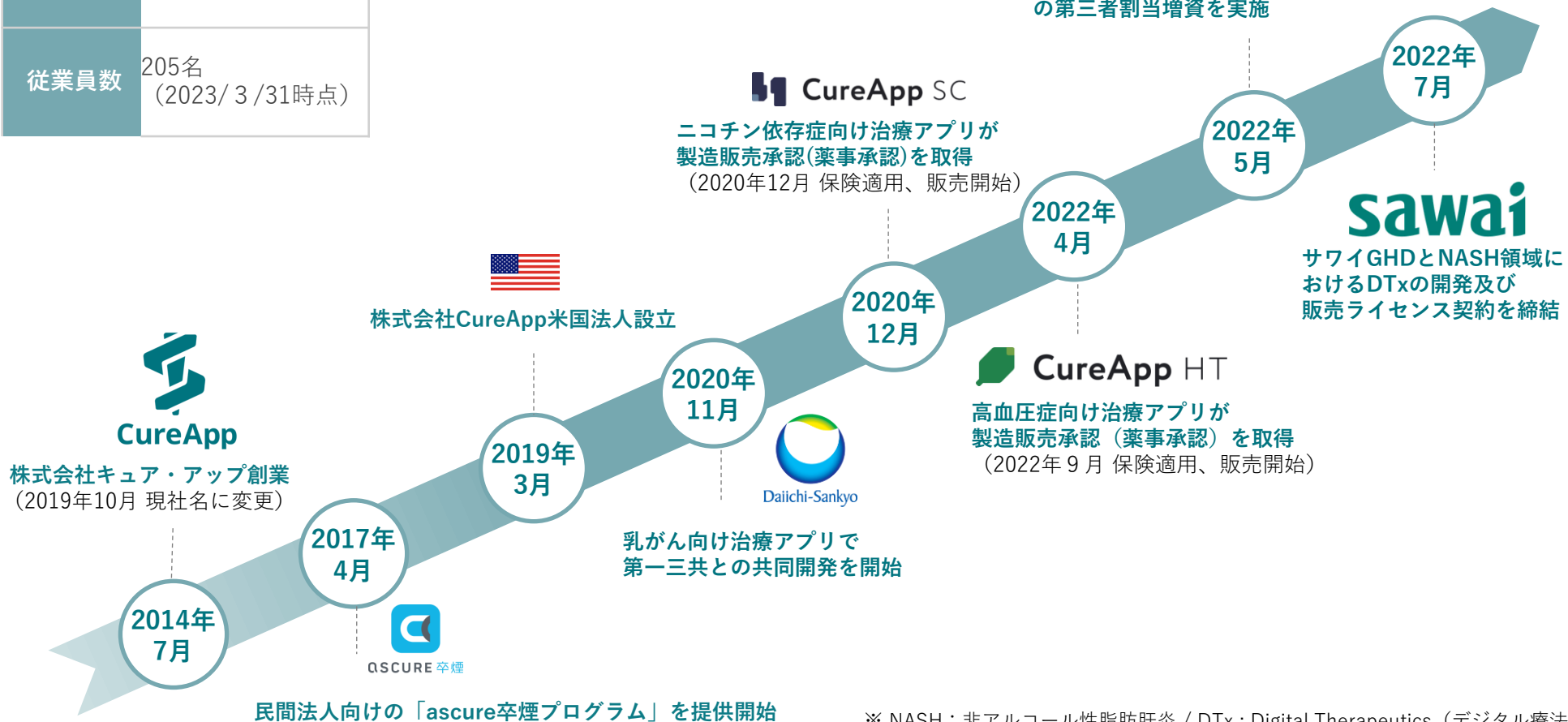


会社概要、沿革

会社名 (英語表記)	株式会社CureApp (CureApp, Inc.)
従業員数	205名 (2023/3/31時点)

THE CARLYLE GROUP

カーライル・ジャパン・エルエルシーが運営するファンドであるCJP SE X Holdings, L.P.を引受先とする70億円の第三者割当増資を実施



※ NASH : 非アルコール性脂肪肝炎 / DTx : Digital Therapeutics (デジタル療法)

経営陣略歴：医師を中心に各分野でプロフェッショナルを配置



開発統括取締役
医師／共同創業者

すずき しん
鈴木 晋

慶應義塾大学医学部卒

経歴：東京大学医科学研究所、ベンチャー企業の創業経験有り

代表取締役社長
医師／共同創業者



さたけ こうた
佐竹 晃太

- 慶應義塾大学医学部卒
- CEIBS (China Europe International Business School) 経営学修士(MBA)
- Johns Hopkins大学公衆衛生大学院 公衆衛生学修士(MPH)

医学部卒業後、日本赤十字社医療センター等で臨床業務に従事。呼吸器内科医として診療を行う。2012年より中国と米国の大学院に留学。米国大学院在学中、医療情報科学分野を研究。帰国後、CureAppを創業。現在も週に1度は診療の現場に立つ。日本遠隔医療学会 理事も務める。



コーポレート統括取締役
CFO

ひさのう ゆうじ
久納 裕治

早稲田大学商学部卒 / 公認会計士

経歴：新日本監査法人、フロンティアマネジメント



事業開発・推進統括
取締役

みやた ひさし
宮田 尚

京都大学法学部卒 / (旧) 司法試験合格

経歴：フューチャーベンチャーキャピタル、ペイン・アンド・カンパニー、JINS



メディカル統括取締役
医師

たにがわ ともゆき
谷川 朋幸

東京大学法学部卒 / 滋賀医科大学医学部卒

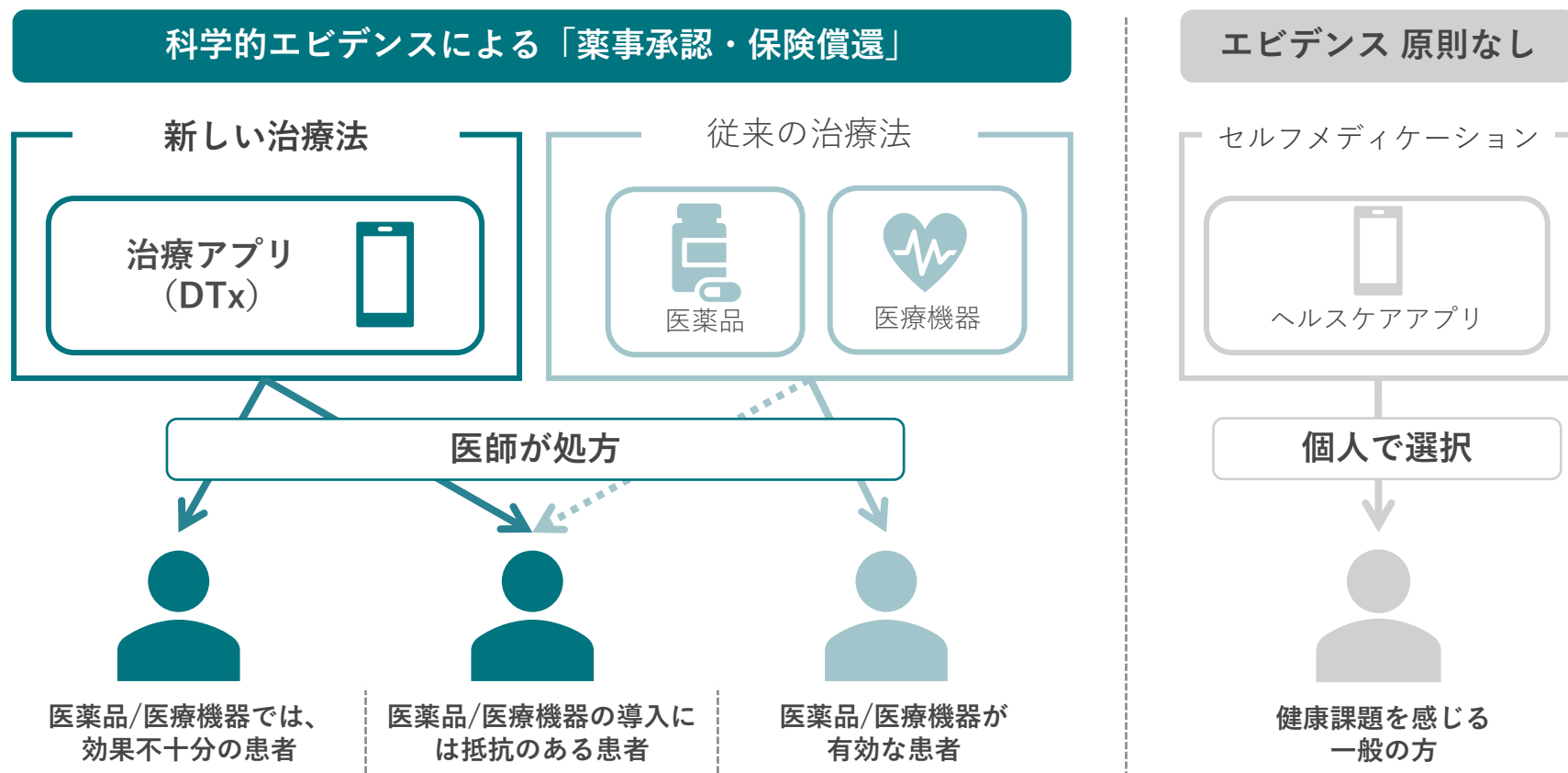
経歴：難民支援NGO、ソニー、亀田総合病院、聖路加国際病院

アジェンダ

1. 会社概要
2. 治療アプリとは
3. サステナビリティ経営・IMMに関する取り組み

治療アプリ：治験を経たソフトウェアによる新たな治療法

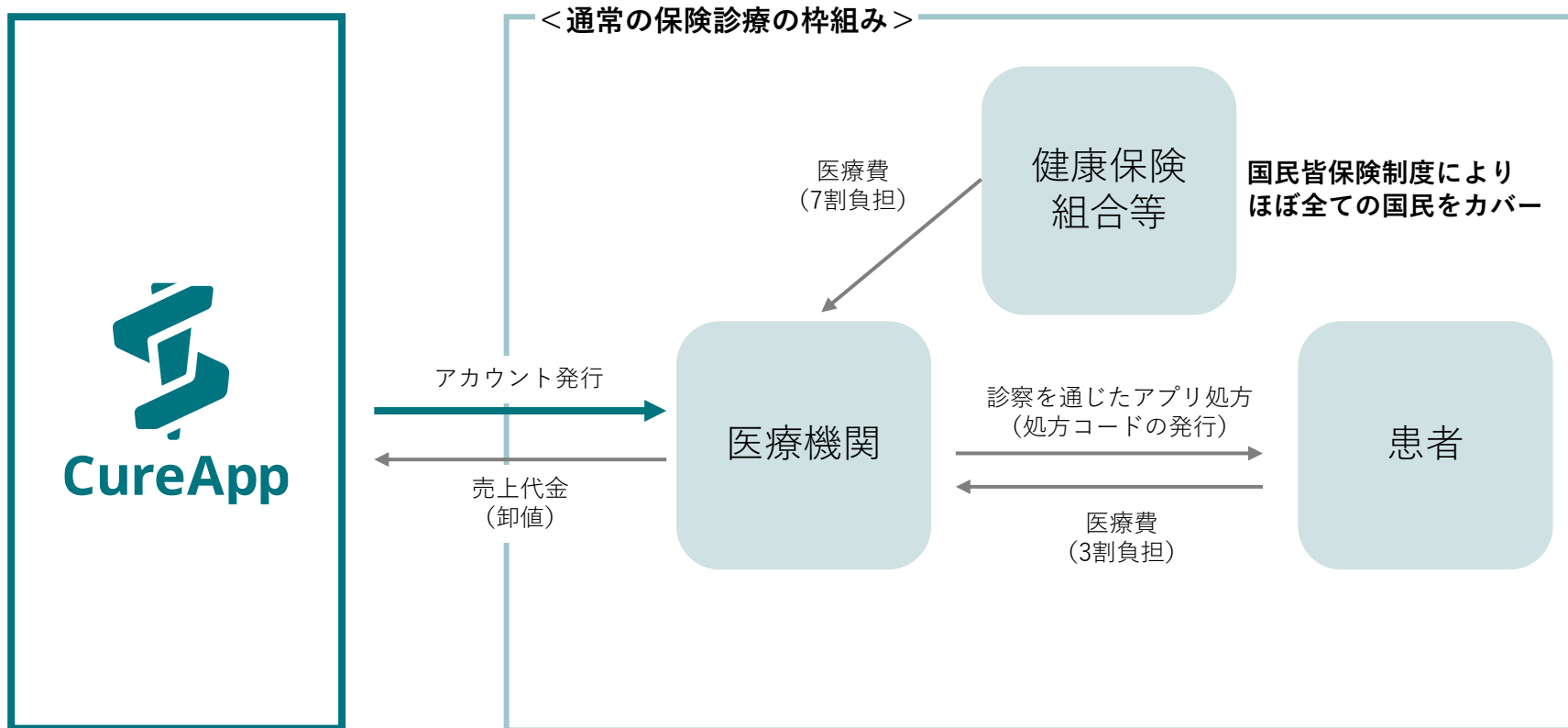
治療アプリは治験による科学的エビデンスを有し、薬事承認を取得したソフトウェアによる治療法です。医薬品や医療機器と並ぶ新たな治療法として、医療現場の課題解決に寄与します。



医療事業のビジネスモデル：保険診療の枠組みの中でアプリ提供


治療アプリは、薬事承認・保険償還を経て販売されるプログラム医療機器です。そのため、医療用医薬品や医療機器と同様に通常の保険診療の枠組みを通じて提供されます。

※負担割合については、日本の公的医療保険制度における患者（6歳から70歳未満）の場合の例



製品パイプライン：複数製品を上市、後続パイプラインも開発中

当社はニコチン依存症・高血圧の領域で世界初の治療アプリの薬事承認・保険償還を成し遂げて販売を開始しています。また、その他のパイプラインについても並行し開発を進めています。

対象疾患	開発開始時期	開発	フィージビリティ 臨床研究	探索的臨床研究	治験	薬事申請	薬事承認 保険適用
ニコチン 依存症	2014年11月	2020年12月 世界初のニコチン依存症対象の治療アプリとして販売開始					
高血圧	2018年1月	2022年9月 世界初の高血圧症対象の治療アプリとして販売開始					
アルコール 依存症	2020年6月	治験中					
NASH	2015年11月	サワイGHDと提携し、治験準備中				sawai	
乳がん	2020年11月	第一三共と臨床試験準備中		 Daichi-Sankyo			
慢性 心不全	2021年6月	臨床試験準備中					
慢性 腰痛症	2022年7月	開発中					

アジェンダ

1. 会社概要
2. 治療アプリとは
3. サステナビリティ経営・IMMに関する取り組み

サステナビリティ経営：企業の歩みの適切さを確認するためのツール

パーパスやミッションが遠い目的地を示すものである一方で、サステナビリティ経営は企業が進んできた道筋やその過程での影響が適切なものであるかを確認するための地図等にあたります。



1 パーパス：企業にとっての究極の目的。山登り
で言えば、最終的な目的地にあたる。

2 ミッション：企業にとっての存在意義。山登り
で言えば、目的地への登り方。

3 ビジョン：企業にとっての中期的なありたい姿。
山登りで言えば、中間ゴールにあたる。

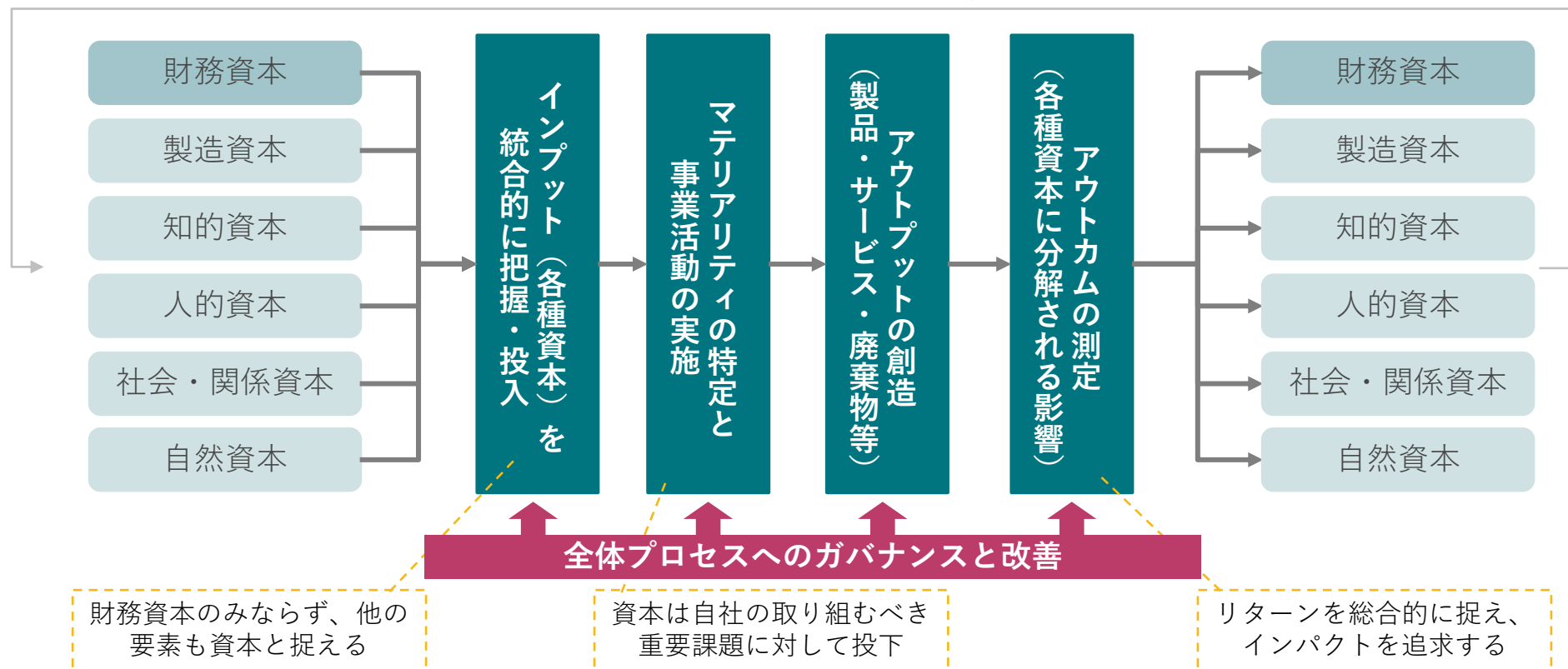
4 バリュー：企業の行動規範。山登りで言えば、
登山者の心構えにあたる。

5 サステナビリティ経営：サステナビリティの観
点から企業経営を具体的に確認するツールの一
つ。山登りで言えば、登る道を外れていないか
を確認する地図やコンパス等にあたる。

サステナビリティ経営の全体像

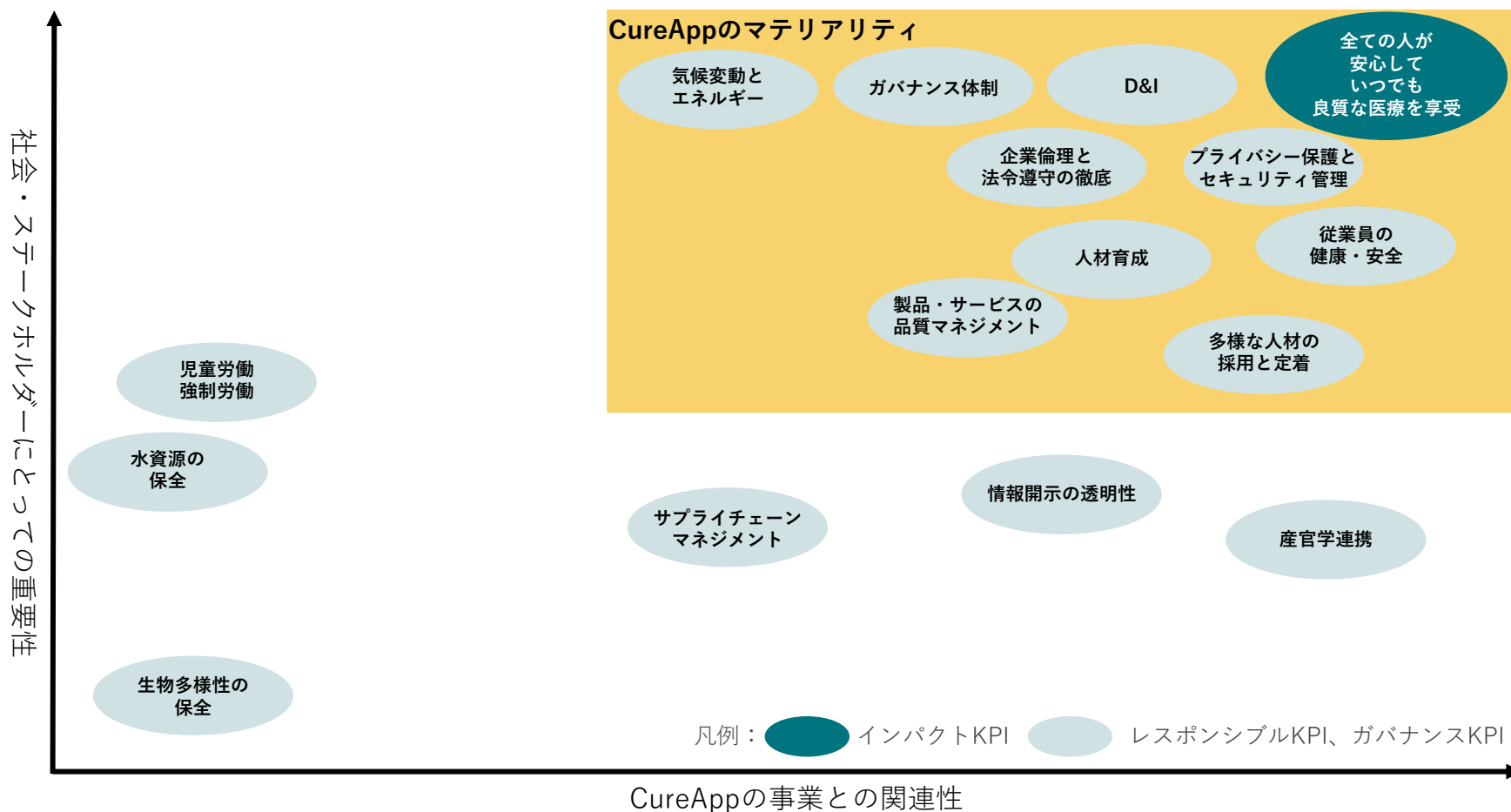
当社の考えるサステナビリティ経営とは、様々な資本を自社のマテリアリティに紐づけ事業活動に投下し、環境・社会への影響（アウトカム）を測定しながら長期の価値創造を行うことです。

財務・非財務資本は再度インプットとなり長期の価値創造へ繋げる



CureAppのマテリアリティとは

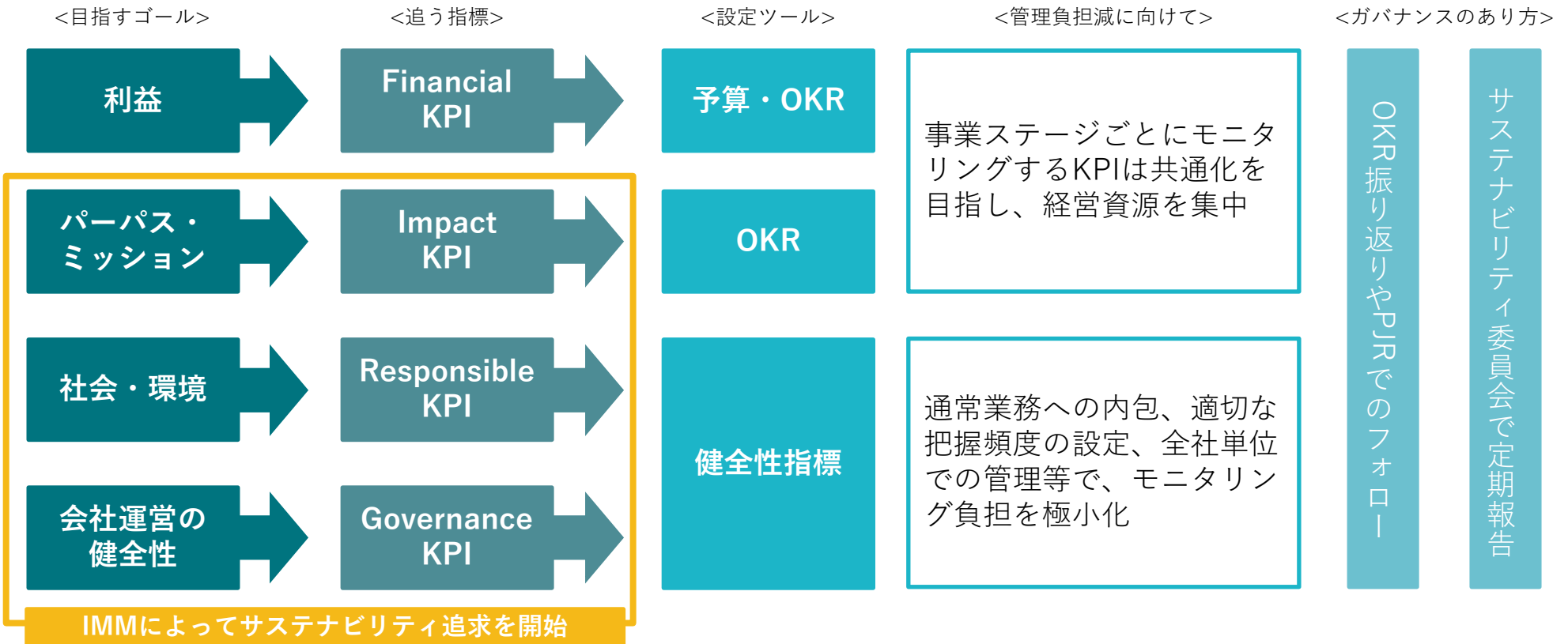
「社会・ステークホルダーにとっての重要性」と「CureAppの事業との関連性」の2つの観点から特に重要な項目をマテリアリティとして設定しています。



* 「社会・ステークホルダーにとっての重要性」と「CureAppの事業との関連性」の2つの観点から特に重要な項目をマテリアリティとして設定しています。

IMMは原則として予算やOKRの枠組みの中で行われるもの

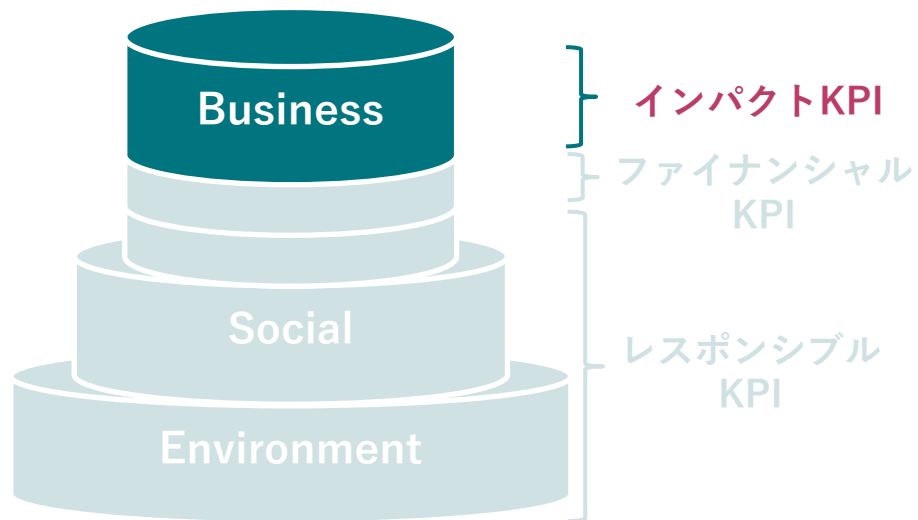
IMM (Impact Measurement Management) は、新たな業務負担を強いるものではなく予算やOKRの考え方を少しアップデートし、目指すゴールの達成度合いを確認しながら進むためのものです。



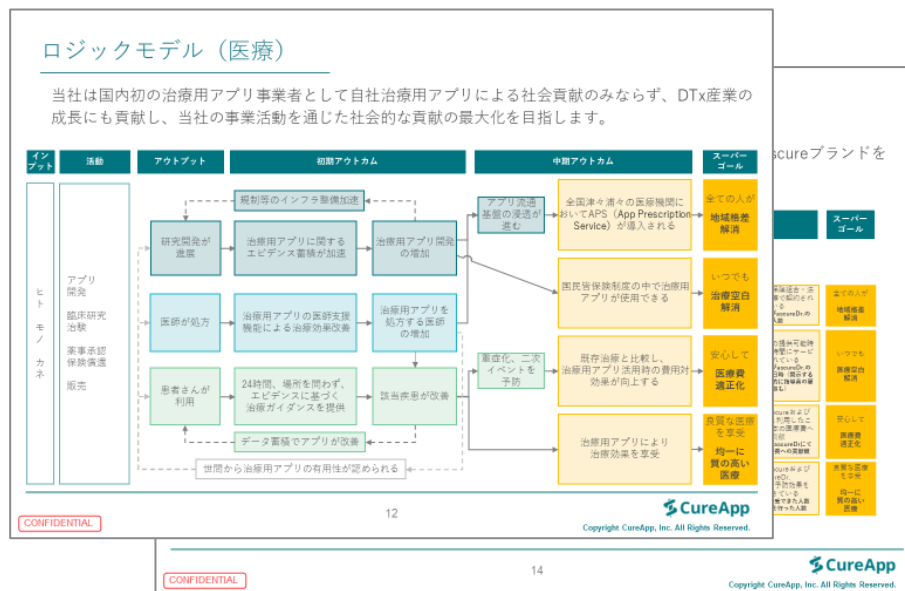
インパクトKPIとは

当社のパーパス実現に直接紐づくKPIを指しています。インパクトKPIを最大化するための道筋を次ページ以降のロジックモデルで明確にし、当社の事業がもたらす社会へのインパクトを可視化します。

アウトカム測定 の全体像



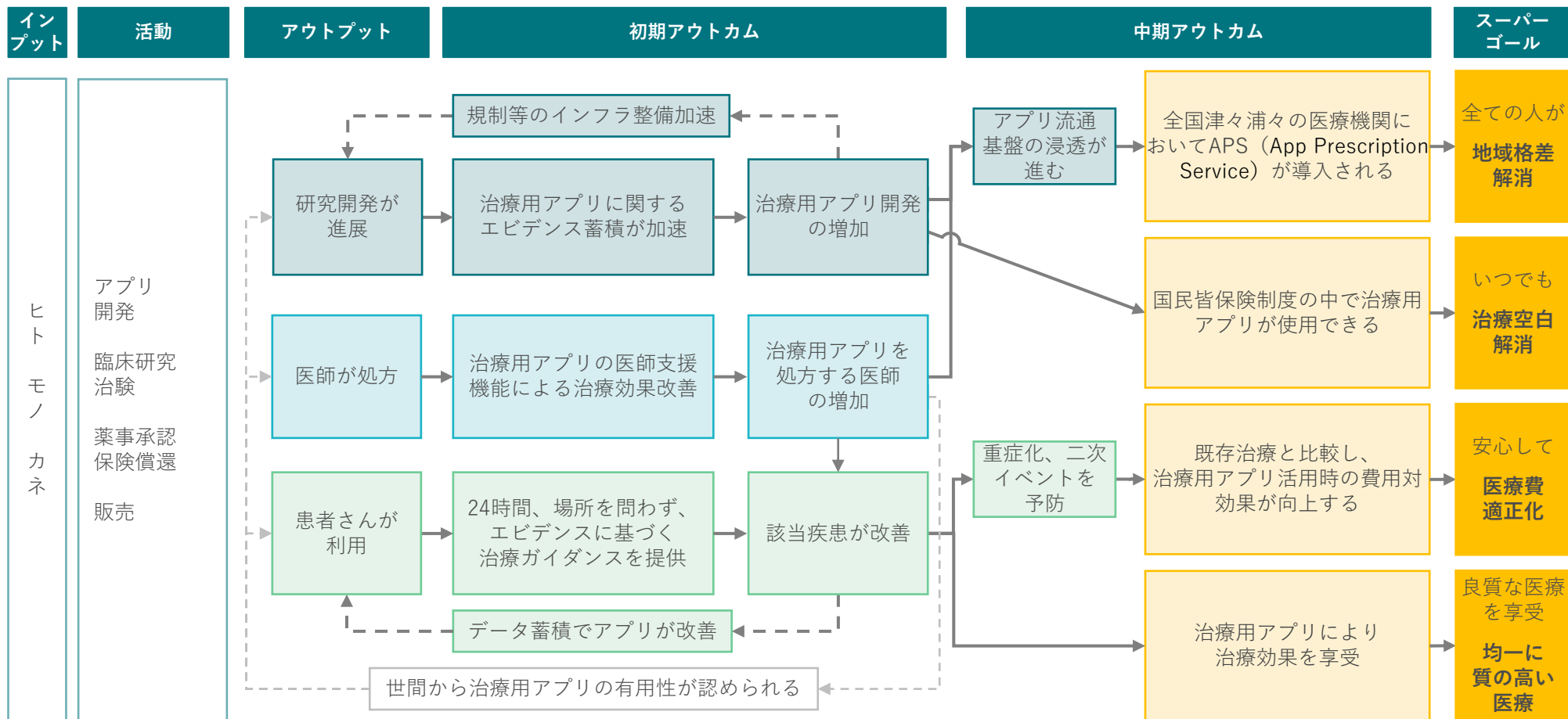
インパクトKPIの設定方法



アウトプット、アウトカムとパーパス実現までの道筋・関係をロジックモデルによって可視化

ロジックモデル（医療）

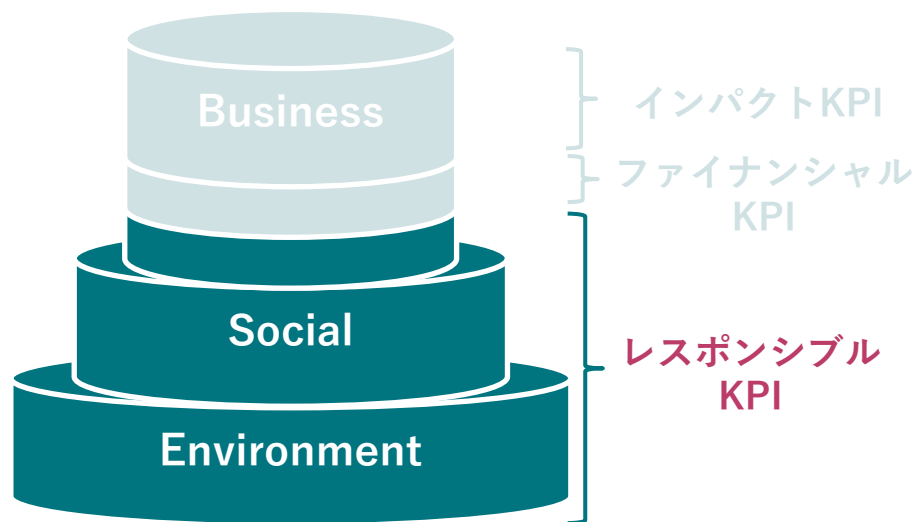
当社は国内初の治療用アプリ事業者として自社治療用アプリによる社会貢献のみならず、DTx産業の成長にも貢献し、当社の事業活動を通じた社会的な貢献の最大化を目指します。



レスポンシブルKPIとは

企業活動を通じ不可避で発生するビジネス・社会・環境に関するマテリアリティのKPIを指しています。企業活動の性質、ステークホルダーからの期待を踏まえ目指すKPIを設定、PDCAを回します。

アウトカム測定の全体像



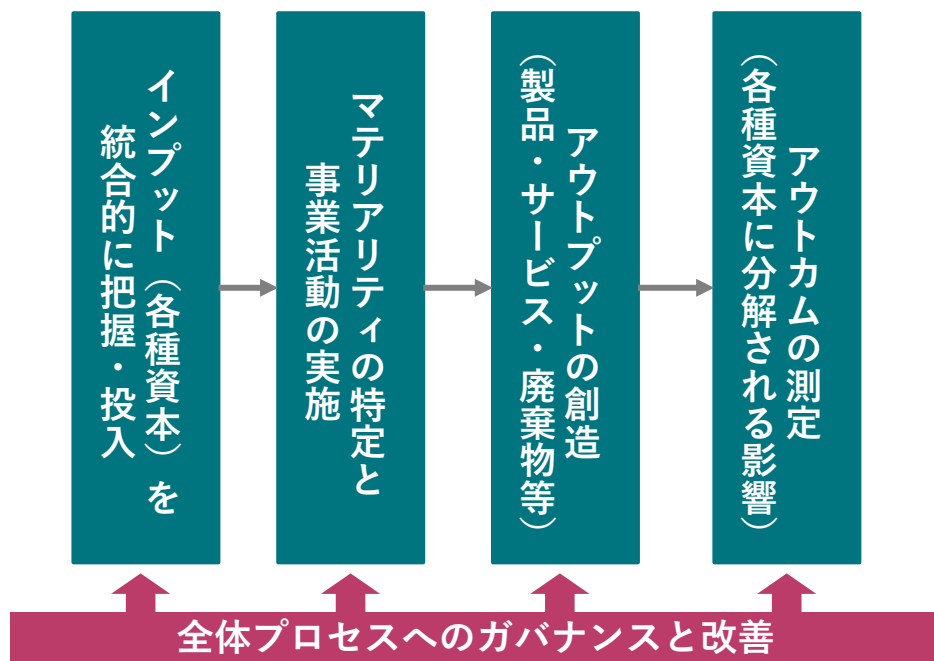
レスポンシブルKPIの必要性

レスポンシブルKPI	経営に与える影響
ある	環境や社会等を意識した経営を行うことができ、将来に向けて持続可能な経営を実現することができる
なし	ビジネスのみを追求する結果、人的資本や自然資本の毀損等が生まれ、将来ビジネスが立ち行かなくなる危険性（持続可能ではない）

ガバナンスKPIとは

社会へのインパクト創出、その土台となるビジネス・社会・環境への対応、その結果としてのEV最大化のためには、コーポレートガバナンスの継続的な強化が必要不可欠であると認識しています。

事業活動におけるガバナンスの位置づけ



※株主の権利行使に関するガバナンスについては未上場であるため、足元は対象としない

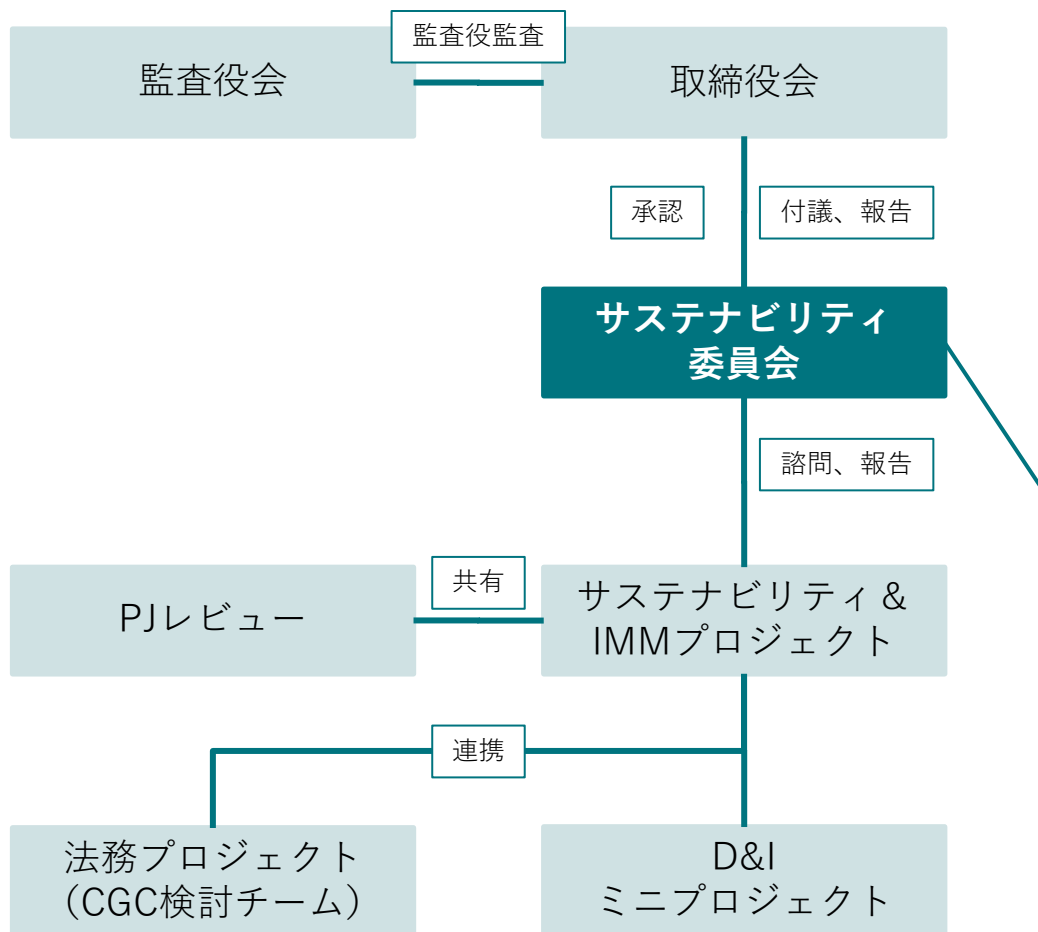
ガバナンスKPIの考え方

専門性	高次元の議論が出来るように各分野で高い専門性を持つ役員を登用する
独立性	生え抜きの役員の見のみで意思決定するのではなく、利害関係が異なる社外役員の見も取り入れて意思決定できる構成とする
多様性	画一的な構成ではなく、様々な観点からの見が取り入れられるように年齢・性別・国籍等を意識した役員登用を行う
変化への対応	サステナビリティの社会浸透等の環境変化に対応し、その時々で求められる要素を具備した役員構成とする

社会からの要請に真摯に向き合い、最適な役員構成を模索し続ける

サステナビリティ経営のモニタリング、ガバナンス体制

サステナビリティ関連の業務執行に関する重要事項については、外部のアドバイザーも含めたサステナビリティ委員会で諮問・報告・ディスカッションを行い、ガバナンスを担保します。



サステナビリティ委員会の概要

役割	中長期の視点でサステナビリティ関連の業務執行に関する重要事項の諮問・報告・ディスカッションを行う
メンバー構成	委員長：代表取締役社長CEO 委員：取締役CxO オブザーバー：常勤監査役 外部アドバイザー 事務局長：プロジェクトリーダー 事務局：サステナビリティ & IMM
開催頻度	四半期に1回

貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。

本資料に関するお問い合わせ先

久納 裕治 / Yuji Hisano

取締役 CFO 公認会計士/ Chief Financial Officer, Certified Public Accountant

MAIL: yuji.hisano@cureapp.jp

株式会社CureApp / CureApp, inc.

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル 4F

TEL: 03-6231-0183 | WEB: cureapp.co.jp

